京城日報 朝刊
(昭和九年八月十日第三種郵便物認可)

香港遂にわが軍門に降る

敵、降伏を申出づ
攻城軍、昨夜停戰命令

大本營陸海軍部發表(廿五日午後九時四十五分)=香港島の一角に餘喘を保ちありし敵はわが晝夜をわかたざる攻擊により本廿五日十七時五十分(午後五時五十分)つひに降伏を申出でたるによつて軍は十九時卅分(午後七時卅分)停戰を命じたり

ヤング總督停戰申込

【香港廿五日同盟】廿五日午後七時廿五分ヤング香港總督より停戰申込があつた

彼我兩軍首腦會談

【香港廿五日同盟至急報】二十五日午後九時卅分九龍ペニンシユラーホテルでヤング香港總督、モルトヒ陸軍司令官はわが軍首腦部と膝を交へて會談中

香港在留邦人廿八名を救出

【香港廿五日同盟】今次香港攻略戰開始と同時に英側に抑留されその安否を氣遣はれてゐた矢野總領事以下香港殘留邦人中矢野總領事以下總領事館員と婦女子を除く廿……

社說 香港陷落の意義

對米英の戰端開かれるや、我皇軍は去る八日未明を失せず英領香港の攻擊を開始し、直ちに飛行場、港灣施設に果敢なる空中攻擊を加へるとともに、地上よりも一齊に進擊を始め、十二日未明には早くも九龍半島一帶を略取した。一方海軍もまたこれに相……作戰を開始、十日朝……敵艦……東口に肉薄して……擊沈し……るほか十二日に……爆擊によつて魚雷……

は英國が百年に亘りその極東基地として、政治、軍事、經濟上に恰も一獨立國の如き觀を呈しその隆々たる勢威を驕りて東亞に睨みを利かしてゐただけに、その軍備の如きもシンガポールにも劣らぬ完全な防備を誇つてゐ……

で來つた。いふまでもなく香港……を忘つてはならないのである。以上述べた如く英國が極東進攻の重大基地を失ふに至つたことは英國にとつて何物にも代へ難い大打擊であつて、これによつて支那に在る彼等の既成勢力は完全に敗退を餘儀なくされたわ……

陸軍、酒井中將 海軍は新見中將
香港方面最高指揮官

大本營陸海軍部發表(廿五日午後九時四十五分)香港方面陸軍最高指揮官は陸軍中將酒井隆、海軍最高指揮官は海軍中將新見政一なり

【寫眞=上から陸軍中將、新見海軍中將】

兩中將の略歷

新見政一中將

輝く香港攻略海軍部隊最高指揮官として殊勳をぬいだ新見中將は廣島縣安佐郡川上村出身、明治四十一年兵學校卒業後大正八年海軍大學卒、艦隊參謀長……

英・東洋搾取の根源地潰ゆ

我後續部隊更に上陸
空軍の掩護下、ルソン島東岸に

大本營陸海軍部發表(二十五日午前十時三十五分)二十二日以來ルソン島西部リンガエン灣沿岸に上陸中の帝國陸軍大部隊は所在の敵を擊破しつゝ南方に進擊中のところ、さらに昨廿四日拂曉有力なるわが後續陸軍部隊は强力なわが空軍護衛部隊掩護のもとにルソン島東部海岸に上陸を開始し、戰況は極めて有利に進展中なり

加州沿岸で米船擊沈

【ブエノスアイレス廿四日同盟】ロスサンゼルス來電によれば米貨物船アブサロカ號(五、六九八トン)がカルフオルニア州沿岸で日本潜水艦の攻擊を受け擊沈されたと廿四日發表された

マレー東西併進
ボルネオでは英陣地を突破す
陸の精銳各方面猛進

大本營陸軍部發表(廿五日午後四時四十五分)=帝國陸軍部隊は各方面において敵を擊破し戰況有利に進展しつゝあり、昨廿四日までにおける戰況の概要左の如し

一、比島方面 (一)ルソン島アパリ附近に上陸せる部隊はツゲガラオ附近一帶の地區を確保しあり、廿二日リンガエン灣に大擧上陸せる我大部隊は南進中のヴイガン上陸部隊を併せ所在の敵を擊碎しつつ怒濤の如き勢を以て南進しつつあり、又レガスピに上陸せる部隊は十四日ナガを攻略中にしてさらに廿四日未明大部隊はラモン灣に上陸、戰果擴張中なり、一方陸軍航空部隊は、引續きマニラ周邊の敵主要空軍基地を反復攻擊しわづかに餘喘を保ちつつある敵殘存空軍に對しさらに一大痛擊を加へつつあり

(二)ミンダナオ島 廿日ミンダナオ島に上陸せる部隊はその首邑ダヴアオを完全に占領し引續き同地周邊の殘敵を掃蕩中なり

二、マレー半島 マレー西方海岸地區を猛進中の我部隊は一部を以て十九日ペナン島を攻擊するとともに主力を以て廿一日午後クリアン河を渡河し隨所に英軍を擊破しつつ同河南方の要衝タイピンを攻略し、引續き南方に向ひ敵を攻擊中なり、またマレー東方地區を進擊中の部隊は十九日クアラクライ(ユタバル南方)を攻略したる後引續き進擊中なり陸軍航空部は地上部隊の戰鬪に協力するとともにその主力をあげて殘存英空軍の擊滅戰を續行しかつ長驅ラングーンを空襲し着着戰果をあげつつあり

三、英領ボルネオ方面 ミリー、ルトン、セリヤの三地區に上陸せるわが軍は堅固なる陣地を突破したるのち附近一帶の英軍を掃蕩しつつあり

四、グアム島占領および在支敵性權益處理は順調に進捗しつつあり

海軍論功行賞 生存者第八回 死歿者第廿二回
偉勳輝く海の强者
塚本中將ら四百十九名

【東京電話】畏き邊りでは大東亞……して廿六日午前零時内閣賞勳局ならびに海軍……

畏し天皇陛下親臨
けふ貴衆兩院開院式

【東京電話】東亞悠久の運命を決すべき征戰に國家の總力を擧げて一億邁進の決意を闡明すべく第七十九回帝國議會は二十五日成立を見たので　天皇陛下には二十六日貴族院に行幸、開院式に親臨あらせられる旨廿五日仰出された、當日　陛下には御軍裝に大勳位副章御佩用、百武侍從長陪乘、松平宮相、蓮沼侍從武官長以下供奉の鹵簿にて午前十時四十分宮城御出門、貴族院に行幸、兩院議員奉迎裡に松平貴族院議長の御先導にて一旦御休憩に入御、御先着の各皇族殿下ご御對面の御のち東條首相以下閣僚、原、鈴木樞密院正副議長以下各勅任官ならびに松平、田子、佐々木、内ケ崎、貴衆兩院正副議長に拜謁仰せつけられ議場九通常議會開院式は滯りなく終了陛下には諸員奉送裡に同十一時十五分議事堂還御、還幸の御豫定となる勅語を賜はり、こゝに第七十九承る

提出案七十三件
きのふ臨時閣議で決定

【東京電話】廿五日の臨時閣議において決定せる第七十九議會に提出すべき法律案は左の如く内閣三件、外務、内務各一件、大藏卅一件、陸軍四件、海軍六件、司法五件、農林四件、商工七件、遞信、鐵道各二件、厚生七件、計七十三件である、但し今後審査の結果件數に多少の變更ある見込である

衆議院成立

南の空を制壓する我陸軍の新鋭重爆擊機【陸軍報道部檢閲濟】=電送

マニラ全面撤退か
無防備都市宣言せん

【ブエノスアイレス廿四日同盟】マニラの無防備都市宣言を考慮中とのマニラ電は四面よりする皇軍ひた押の進擊に米軍がもはや同市防衛の自信を失つた苦肉の策と考へられてゐたが、ワシントン廿四日電は果然米國陸軍省もマニラより比島政府、米國軍政各機關ならびに軍隊の撤退を考慮中と言明したと報じてゐる、右は極東軍司令官マツカーサー代將がマニラを撤退せんとの報道とも一致するものであるがワシントン電内容つぎの通り

陸軍省はマニラから比島政府、米國各機關、軍隊を撤退するかどうかを考慮中と發表された若し右撤退が實現すれば自働的に無防備都市とならう

ウエーキ島の戰果更に擴大

【東京電話】廿三日帝國海軍陸戰隊の決死的猛攻により完全占領されたウエーキ島攻略はその後海軍省に入つた詳報により勝利はさらに輝かしいものであることが判明した、すなはち同島の守備隊長カニング海兵中佐以下米將兵一千四百名を捕虜とし廿四日守備兵約三百と報ぜられたのは三千名の誤りであつたことが判明、また同島の守備には囚人までもこれを用ひ、無數のトーチカ、高角砲座、機關銃座など全島に最新裝備を施して正に洋上の千早城ともいへる一大要塞化してゐた、なほ右につき廿五日海軍報道部員は左の如く語つたアメリカは開戰當時ウエーキ島に三千有餘名の守備兵員を配備してゐた模樣、昨日三百名と報ぜられたのはその後の詳報により三千名の誤りであると語つた

贛潤地區に果敢な作戰開始

【漢口廿五日同盟】中支軍十二月廿五日午後六時發表=軍は昨廿四日夜半贛潤(江西省、湖南省)一地區に對し果敢なる新作戰を開始し戰況は極めて有利に展開しつゝあり

【江西前線廿五日同盟】第三戰區の敵主力……に呼應してわが軍……

佛、ペタン主席の辭職

大東亞戰爭戰況圖

戰況日誌 主要戰果

◇八日 上海戰果＝英砲艦撃沈一、米砲艦拿捕一、共同租界進駐、天津、北京租界進駐、米兵武裝解除、海鷲シンガポール、ダヴァオ、ウエーキ、グアムを爆撃、マレー半島に敵前上陸、布哇海戰＝撃沈戰艦五、甲乙巡二給油船一、大破戰艦三、輕巡二驅逐艦二、中破戰艦一、乙巡四、飛行機撃墜炎上四五〇機、撃墜一四、グアム島空襲軍艦撃沈一、商船拿捕一、比島空襲飛行機撃墜二五、爆破七一、ミッドウエー空襲、桑友好進駐、香港空襲炎上二三機

◇九日 比島戰果＝米運用船撃沈一、英武裝商船ベネブ拿捕、マレー沖海戰＝英艦プリンス・オヴ・ウエールズ撃沈、驅逐艦撃沈一、貨物船撃沈一、空襲撃墜炎上六機、爆破四機、ウエーキ島空襲戰鬪機撃墜五機

◇十日 比島皇軍上陸、グアム島上陸、油槽船拿捕一、佐官捕虜卅、英哨戒艦セント・モナウス型撃沈一、比島戰果＝空襲撃墜四五、破炎上三六、驅逐艦、潜水艦、特務艦各一大破、マレー戰果＝空襲破三〇、撃墜一一、地上爆破一九

◇十一日 ペナン空襲輸送艦撃沈一、大破四、香港戰果＝魚雷艇撃沈一、砲艦一、武裝商船爆破三

◇十二日 比島ルソン島上陸九龍占領、比島空襲撃墜八、撃摧飛行艇一二、陸上機一四、グアム島完全占領

◇十三日 マレー空襲小型戰鬪機炎上四、輸送船爆撃二、大破一、大型爆撃機炎上一、比島空襲撃墜一、地上撃破四三、潜水艦撃沈一、マレー上陸部隊戰果＝英機械化一ケ師團殲滅、戰車二〇、速射砲一六、自動車六〇鹵獲

◇十六日 英領ボルネオ皇軍上陸、比島、マレー大空襲、比島戰果＝戰鬪機炎上四、大破爆撃機二、戰鬪機二、マレー方面＝戰鬪機撃墜一、爆破七、ジョンストン島攻撃

◇十七日 ペナン港空襲大型小型輸送船數隻撃沈、戰鬪機撃墜二、炎上七

◇十八日 香港島上陸成功、マニラ周邊空爆、敵機炎上八、撃墜六

◇十九日 海鷲〇〇急襲、敵機撃墜六、炎上五

◇廿日 昆明空襲撃墜五、比島ミンダナオ島皇軍上陸、ダヴァオ完全占領

◇廿一日 香港島砲臺を攻撃制壓、敵潜水艦九隻撃沈、捕虜七二二

◇廿二日 ルソン島南北に皇軍上陸、ウエーキ島完全占領、香港一部占領

◇廿三日 香港東方東龍島空爆

◇廿五日 香港の敵つひに降伏、陷落

◇開戰以來廿二日まで判明せる敵艦艇損害は次の通り

◇艦艇 戰艦撃沈七、大破三、中破一、巡洋艦撃沈二、大破二、中破四、驅逐艦撃沈二、大破四、潜水艦撃沈九、特務艦大破一、砲艦撃沈一、大破二、掃海艇撃沈一、哨戒艦撃沈一、魚雷艇撃沈六

◇船舶 武裝商船拿捕一、大破三、大型商船拿捕五、撃沈二大破二、各種船舶拿捕四一八以上

◇飛行機 撃墜一一四以上、撃破六六二以上

◇判明せるわが損害 輕巡、小破一、驅逐艦沈没二、掃海艇沈没一、大破一、特殊潜航艇未歸還五、飛行機未歸還を含む七二

歌はぬ勝利 (100)

山中峯太郎【作】 高木清【畫】

愛と血（一）

――母の祕密、といふほどでなくとも、十六年前、幼い時に手ばなした『公子』といふ娘が、現にこの近くに來てゐて、その十六年もの長いあひだ、忍びに忍んできた溜かな母性愛が、今はもう、ひどく心を搖るがしてゐるばかりか、それを、父に相談してみると、およそ『人情』といふものに理解のある私だと、父はまた、その『公子』を生みの母の由紀の手もとへこの斎藤の家へ引きとることを、たやすく同意してしまつたのは、元來、戀といふものをもたないところから、やはり、さうした情愛に自分も飢ゑてゐたからに、ちがひないのだ。

と、宏吉は、戰友の上田兵長が泊つて行き、五日ほどすぎた時、二階の自分の部屋で、腕をくみしめたまゝ考へずにゐられなかつた。

母は、その『公子』の祕密を、しかも、宏吉にあづけてしまひ、

『お父さんも、承知して下さつたのだもの、宏ちやん、ほんたうにわたし、よろしく頼むことよ。この子は、わたしの子なのだから、切つても切れない血をわけた、わたしの公子なのよ。誰もそのとほりなのだしね』

しみじみと切ない涙をためて、さう云つたのだが、さて、それを承知したといふ父も實は、下の座敷で三人が、それを相談しあつた時は、

『向ふの竹內といふ家に、何といつても大きな義理があるのだから、その點は、宏吉、お前が十分に心得て、どこまでも理解をもつて掛けあふことだぜ。なに、かういふ話をつけに行つてみるのも、お前にとつちや、一つの世間學だ。こちらのお袋の氣もちを、向ふにも十二分に理解してもらふやうに、私もやつてみたいことだが、何しろ、この頃の忙しさときたら、組合のことだけでも、並大抵ぢやないんだからね』

東京市內の洋服業者が、今までの個々の組合を解消して、新たに何とか會といふのに整理統合する、その發起人の一人に、父の宏造が、神田區內の同業者から選ばれてゐるといふ。宏吉は歸還以來、內地の諸方面を見聞きするにつれて、大小の『會』また『會』が、どこにも公私ともに出來あがつてゐるのを、これまたいかにも時局らしい新現象の一つだと感はずにゐられない、もの珍らしい感じに打たれてゐた。戰地には『會』など、一つもなかつたのだ。

――內地は何でも會だナ。

その會の一つの發起人に選ばれた父の宏造は、いかにも得意らしく、そのために忙しく奔走してゐるのも、最近の事實だつた。

そこで、當然に宏吉が、竹內家へ『公子』を引きとりの交渉に、出て行かねばならない。この任務は然し、宏吉自身にとつて、歸還以來の戀愛を、一時に拭き消すより以上の苦惱を、ひそかに感じさせてゐるのも、やはり最近の事實だつた。

――『公子』といふのか、あのお孃さんは……。上田兵長が訪ねて來た夜、その日に路で、あそこの家の門を入りかけてゐた公子が、おもての方を見た途端にも、たしかに俺と顔を見あはせた。その前にも幾度か路で會つたことがあるのだし、向ふも見知つてゐるのに違ひないのだ。その『公子』を家へ引きとることになると、……

この期待と驚愕は、思へば思ふほど胸の血を躍らせる。宏吉は、その日から自分で明朗さをとりかへした氣がしてゐた。

父が朝早くから、神田の店へ出て行つたあと、宏吉は、晝まで自分の部屋で『公子』を考へて閉ぢこもつてゐたのだが――今日こそ行つてやらう。あんなに母が、この交渉を頼りにしてゐるのだ、と、夕飯の時にさう決意すると、二階へ上つてくるなり國民服に手早く着かへたのは、公子と路で會つたのは、この服を着てゐた時の方が多かつたし、前の夜にも、やはりさうだつたからである。井出上等兵の遺族を見まひに行つた歸りだつた。

躍動する兵站基地半島

豐富なる天然資源の集散地 大晋州府 發展の一途を辿る

晋州は慶南西部の中樞に位し古く三韓時代より地方行政の中心地として廣く知られてゐたが、大正十四年四月慶南道廳が釜山に移轉するや忽ち寂寞な一農村に墮し、一時衰頽の極に達し市民の前途は暗澹たるものであつたが、當地は西北に近く慶南智異山を背負ひ、該山脈より發する洛東江の一大支流たる南江が、膝元を洗つて貫流し隣接地一帶には豐富な天然資源を有し、咫尺の間に三千浦[illegible]を控へ[illegible]全羅南北道の交通、運輸の要衝にあり、四通八達して地の利を占めてゐる關係上隣接各郡部より物資集散輻湊し、市民の撓まざる努力と相俟つてその間發展の一途を辿り昭和十四年十月他に先んじて府制が實施され現に人口五萬を算するに至つたが、近き將來には飛躍的發展が期せられてゐる府ではこれに呼應して大晋州建設を圖るべく、既に市街地擴張計畫により工事に着手しつゝあり、府民も總力總起ちで聖戰完遂、東亞共榮圈確立のため高度國防國家完成に一致を圖つて邁進してゐる。

米增產が確約され 食糧對策に凱歌

當地方は南江岸に彪大な沃野を擁し氣候溫和で水利も豐富に農耕に最適地である。府邑に當局では戰時下食糧政策に順應し合理的營農法と作付面積の擴張によつて增產に拍車をかけ年々增收を確保してゐるが昭和十二年より既に工事進行中の南江切落工事完成の曉は數千町步の耕作面積の增加するは勿論、南江沿岸の水害地帶の豐利によつて特に米は著しき增產が確約されてをり、愈よ食糧對策に凱歌を上げるものと見られてゐる。因に晋州府及晋陽郡下における主要農作物及び營農對策の概要左の通りである

◇米作狀況 晋州府及晋陽郡（以下省略）合計作付面積は一萬一千五百步で本府の食糧增產計畫と相俟つて作付面の擴張、耕種法の改善、堆肥增產、紫雲英、ヘアリーベッチ、根瘤菌の培養等に依つて肥料の增收を計り年々增產を見、本年は反當り收穫一石七斗の好成績を示してゐるが、近く南江切落工事完成の際は耕地面積の增加と水害地帶の豐利に依り彪大な增產を見ることは火を睹るより明かな事實である

◇畑作物狀況 畑作の主なるものは麥であるが、作付面積は一萬一千町步で麥類作の增加に依る作付町積の擴張と耕種法施肥等の改善に依つて益々增產を來し殊に棉、大麻の耕作は本道內でも優秀な地位を占めてをり、戰時下纖維工業資材として重要な使命を有するだけに總ゆる角度から增產確保に拍車をかけ棉は年產額を六百萬斤、大麻は昨今兩年に著しき增產を來し年產額二百萬斤を突破してゐる

◇果樹栽培狀況 昭和初頭頃迄は果樹栽培は僅か數十町步に過ぎなかつたが、當地方は氣候風土が最も好適地であるに鑑めて果樹栽培が愈よ活潑となり、殊に山その他傾斜地で一般作物不適地を利用して砂防工事等土地改良事業と相俟つて年々耕作面積が增加し現に晋州果樹組合聯合の耕作面積約六百町步で全鮮第二位を占めてをり年產額百五十萬圓に達し、殊に梨、柿の如きは晋州名產として內地、鮮內各地に遠く滿洲方面へ輸移出されてをり、現在の耕作面積だけでも蟲害の驅除と合理栽培法の一段と勵行するに於ては「果物晋州」と謳はれる程の將來に富んでゐるので、同果[illegible]は肥料、藥品等共同購入を行ひ栽培法の改良指導を爲す等技術的增產に躍起となつてゐる

◇蔬菜栽培狀況 南江沿岸は肥沃な砂質壤土で天惠的な風土に恵まれ蔬菜栽培の好適地で、蔬菜は古くより相當栽培して來たが依然在來の栽培方法で增產が向進捗せざりしも、蔬菜の榮養價値が高く認められ需要が益々昂揚してゐる今日戰後國民の營養は先づ蔬菜からといふ見地から昨今頓に栽培熱が高まり、晋州農學校並に一般農家において技術的栽培方が着々講ぜられ耕地の擴張と相俟つて年々增產の一途を辿り現に耕作面積約五百町步に達し、牛蒡、白菜は品質產額とも朝鮮第一を誇つてをり年產額約百八十萬圓を算し悉く各地へ輸移出されてゐる

◇養蠶狀況 養蠶は戰時下纖維資材の重要な役割を課せられてをり老幼男女總起ちで[illegible]家の副業として最も適してゐるため、益々養蠶熱が高まり養蠶を營む者四千九百五十戶、桑樹栽作面積五百五十町步（見積反別を含む）年產額三十萬貫を突破してゐる

晋州の商工業 交通運輸の要衝

晋州は從來農業生產を主たる眼目としてゐたが、本道西部の交通運輸の衝にあり氣候風土もよく天然的資源豐富である關係上、最近商工業は著るしく發展し、家內工業より急テンポの企業形態に發達し各種工場の簇出を見るに至つたが就中南水纖維工場、[illegible]酒造工場、晋州商工株式會社の竹細工は南鮮で優位を占め、その他綿米織物、製材工場等計八十六、この一日の從業員千名を突破し年產額七百萬圓に達してをり、なほこれが商取引關係を見るに公設市場は南鮮第一を誇り市場を通じての魚菜その他日用品の一ケ年の賣上高五百萬圓を下らず、殊に商街には反物商が殷盛を極め、反物の卸商として具仁商會、三〇商會、[illegible]商店、沈成允商店等がかぞへられ、その他雜貨金物店、雜穀商、酒造商等の貿易商あり、これ等一般商品の一年の總賣上高は四千萬圓の彪大な數字を示し、主要輸移出品は米（籾を含む）棉、麻、大豆、果物、蔬菜等で年額六百萬圓、輸移入高二千二百萬圓に達し商工會議所では統制經濟下における中小商工業者の維持育成の指導宜しきを得て日々發展の一途を辿つてゐる。一大商工都市として生產擴充の國策線に乗つて東亞共榮圈確立のため、益々高度國防國家建設に邁進すべく府民に商工會議所では資源開發と工場誘致に活發なる活動を續けてゐる

◇金融機關 殖產銀行支店、漢城銀行支店、中央無盡支店、晋州の經濟界を握つて年々業績上昇し最近漢城銀行支店、中央無盡支店は非常な活況を呈し、時局下統制經濟の國策に順應し中小商工業者の維持育成、その他地方經濟界の發展に萬全を期してをり、一方貯蓄報國に邁進し着々良好な成績を收めてゐるが、昭和十五年末現在の預金高は左の通りである

▲殖銀支店 四、一六九、七〇八圓
▲漢銀支店 五〇九、〇三一圓
▲晋州金組 九四一、五一四圓
▲晋山金組 五六三、一四四圓
▲晋陽金組 五六五、七四五圓
▲中央無盡支店 契約高 五、五〇〇、〇〇〇圓 未給付中掛込金高 一、五〇〇、〇〇〇圓
▲晋州郵便局及び錦町郵便局 預金高 五一三、八〇二圓 簡易保險金高 二、九八四、一〇三圓